

# 防除情報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察防除情報第23号

## たまねぎ ベと病の防除対策について

県内の早生たまねぎでべと病の一次感染株（越年罹病株）が確認されました。今後の気象条件によっては本病が多発する可能性があります。発生を抑えるためには一次感染株（越年罹病株）の抜き取りが重要となりますので、圃場の見回りと発病株の抜き取りの徹底等について防除指導をお願いします。

### 記

#### 1. 発生状況等

- (1) 1月14日の臨時調査（早生10圃場）において、べと病の一次感染株の初発生が確認された（発病株率0.005%、発生圃場率10.0%）。
- (2) 2月14日の臨時調査（早生10圃場）では、発病株率は0.03%、発生圃場率は20.0%であった。
- (3) 2月前期の巡回調査（16筆）の結果、発病株率は0.003%（平年 0.036%）、発生圃場率は6.3%（平年 10.2%）であった。
- (4) 気象予報（福岡管区気象台、令和4年2月10日発表）によると、向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。

#### 2. 防除対策

- (1) 圃場の見回りをこまめに行い、発病株（一次感染株）を発見したらできるだけ早く抜き取る。抜き取った株は圃場内に放置せず、孢子が周囲に飛散しないよう、その場で直ちに袋等に入れて圃場外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) ベと病は条件が整うと感染と発病を繰り返し急激に蔓延するため、今後の気象情報等に留意し、一次感染株の見られる圃場では早急に薬剤散布を行う。また、発病が見られない圃場でも2月中下旬以降は定期的な予防散布を行う。薬剤散布量が十分でないとう効果が低下するので、薬剤には展着剤を加用し、株全体が濡れるようむらなく散布する。
- (3) 圃場の排水が悪いと本病の発生を助長するので排水対策を行う（明きよの切り直し等）。



タマネギべと病一次感染株

#### 【一次感染株の特徴】

- ・葉身が外側に向かってわん曲している
- ・葉色は健全葉と比較して褪せたような色をしている（黄色味を帯びている）

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室  
（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室（長崎県病害虫防除所）  
TEL：0957-26-0027

